



がんになっても いきいきと!

いきいき和歌山がんサポート理事長 谷野裕一

(116)

乳

癌

学

会

途絶えていました。

今回、自力で初めから企画するのは大変でしたが、3人の患者さんが手伝ってくれました。企画・現地15名、オンライン25名が参加してくれました。参加していただけた皆さんに喜んでいただけです。

暑い日が続きますね。私は毎朝晴れていれば、朝5時半から和歌山マリーナシティまで往復10kmを自転車で走っています。そのおかげで3

月から増えていた体重が減り、体脂肪率19・9%。やっと念願の20%を切りました。暑くなつても続けますよ。皆さんもコツコツ頑張ってくださいね。

6月末は横浜で乳癌学会。今回は患者さん向けの勉強会を企画しました。世界最大の乳癌学会であるサン・アン・トニオ乳癌シンポジウムのまねをして、2011年から数年、専門医がトピックスを解説する勉強会を患者さんと行いましたが、

話もしました。学会で聞いた話題を解説する会なので、大変でした。当日は、4

時に起きて、朝と昼の間飯を食べただけで、14時までの10時間スライド作りに集中しました。参加していただけた感無量でした。4月からの活動の成果です！ 頑張ります！

テーマは、新薬の話の要望が多いですが、今回はリンパ浮腫の手術治療の話です。頑張りました。乳がんの手術で、脇の下のリンパ管の流れが悪くなっているところに運動などによってリンパ液の流れが

増えるとあるのでしょります。それがリンパ浮腫です。しかしこれまで、手術の効果はあまりなく、マッサージのようないわば、リンパ浮腫が起つて、根本的な治療として、定期的な治療ーターをするしかな

ります。さらに、今回の乳癌学会の発表では、これまで手術は、このままでは手術が太くなってしまう人は仕方がないようですが最近、すくく細い血管とリンパ管が見える超高性能の超音波検査機器が開発されました。まだ、手術

顕微鏡で見ながら、
・5mm程度のリンパ管と静脈を縫い合わせることができるようになっています。手術でつないで、リンパ液を静脈に流せば、リンパ浮腫が起つりにくくなりますが、定期的な手術です。さらに、今回の乳癌学会の発表では、これまで手術では治らないとされていた、皮膚が厚くなつた患者さんでも、手術で良くなる方法が発表されました。まだ、手術

件数が少ないのですが、どれだけ効果があるか未確定ですが、期待が持てる治療です。13日には天王寺の形成外科の先生の手術を見に行くことにしています。新しく作った私のホームページやユーチューブではいろんな情報をお載せてありますので、また見てみてください。

だわい。これからも頑張りますので、応援をよろしくお願いいたします。

谷野メディカル
ソシエイツ 代表
公立那賀病院乳腺
外科 非常勤医師

谷野裕一
<https://www.breastlife.com>

